

1 2. 教育職員免許状の授与資格

Conferment qualification of the education staff certificate (printed by Japanese language)

博士前期課程の次の専攻では、所定の要件を満たすことにより、教育職員免許状（専修）の授与資格を取得することが出来ます。

(1) 教育職員免許状の種類等

| 専攻 | 免許状の種類 | 免許教科 |
|-------------|-------------|---------------|
| 海洋生命科学専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 理科または水産 |
| | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 食機能保全科学専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 理科または水産 |
| | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 海洋環境保全学専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 理科、水産、商船または工業 |
| | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 海洋管理政策学専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 理科 |
| | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 海洋システム工学専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 理科、水産、商船または工業 |
| | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |
| 海運ロジスティクス専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 商船または工業 |
| 食品流通安全管理専攻 | 高等学校教諭専修免許状 | 理科 |
| | 中学校教諭専修免許状 | 理科 |

※専修免許状は、所持（見込みを含む）している一種免許状の学校種・免許教科となります。

(2) 教育職員免許状の授与資格を取得するのに必要な単位数及び対応科目

複数の免許教科に対応している「特別演習」及び「特別研究」（下線を付したものは、主指導教員によって対応する免許教科が異なります）ので、教育職員免許状の授与資格の取得を考えている学生は、教職課程担当教員、教務課大学院係（品川地区）または越中島地区事務室教務係（越中島地区）から、必ず個別指導を受けて、必要な授業科目等を確認して下さい。

また、免許教科に指定された他専攻科目の単位数も、教育職員免許状の授与資格の取得に必要な単位数に含めることが出来ます。この場合、免許教科に指定されているか否かに関わらず、修了要件に算入される他専攻科目の単位数の上限は、各専攻によって異なりますので、必ず各自で確認して下さい。

○海洋生命科学専攻 免許教科「理科（専修）」 必要単位数 24 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|--|
| 教科に関する科目 | 水族分子遺伝学，魚類栄養学，水族飼料学， <u>水圏生物科学特別演習</u> ， <u>水圏生物科学特別研究</u> ，保全生態学，集団維持学，魚群行動学， <u>生物資源学特別演習</u> ， <u>生物資源学特別研究</u> ，遺伝生化学，毒性病理学，微生物化学， <u>海洋生物工学特別演習</u> ， <u>海洋生物工学特別研究</u> |

○海洋生命科学専攻 免許教科「水産（専修）」 必要単位数 24 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|--|
| 教科に関する科目 | <u>水族免疫学*</u> ，水族発生工学，水族感染症学，水族培養細胞学，水圏養殖学，応用藻類機能学，応用藻類特性学，魚類生殖生理学Ⅰ，魚類生殖生理学Ⅱ， <u>水圏生物科学特別演習</u> ， <u>水圏生物科学特別研究</u> ，漁業生産学，漁業解析学，生産システム工学，資源変動学，資源評価学，初期生態学，比較生態学，乗船漁業調査特別実習， <u>生物資源学特別演習</u> ， <u>生物資源学特別研究</u> ，魚介類ゲノム科学， <u>分子魚病学*</u> ，水産生物細胞機能学，水産生物分子機能学，分子環境毒性学，水族病態生理学，微生物工学， <u>海洋生物工学特別演習</u> ， <u>海洋生物工学特別研究</u> |

○食機能保全科学専攻 免許教科「理科（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|--|
| 教科に関する科目 | 食品物性学, 高分子溶液論, 食品微生物学, 食品危害微生物制御学, 食品保全機能学特別演習 , 食品保全機能学特別研究 , 食品熱物質移動論, 食品熱工学, 食品プロセス工学, 食品システム分析学, 食品品質設計学特別演習 , 食品品質設計学特別研究 |

○食機能保全科学専攻 免許教科「水産（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|--|
| 教科に関する科目 | 食品栄養機能学, 食品分析化学 #, 食品保全機能化学, 食品有害因子論, 生物資源化学, 生体物質解析学, 食品保全機能学特別演習 , 食品保全機能学特別研究 , 食品低温物性科学, 食品冷凍工学, 食品加工技術論, 食品品質設計学特別演習 , 食品品質設計学特別研究 , 予防食品科学 *, 食品薬理学 *, ヘルスフード科学特別演習 *, ヘルスフード科学特別研究 * |

○海洋環境保全学専攻 免許教科「理科（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|---|
| 教科に関する科目 | 魚類生理生態学, 魚類系統分類学, 藻類系統学, 藻類形態分類学, 生物環境学, 無脊椎動物生理生態学, 無脊椎動物系統分類学, 浮遊生物生態学, 浮遊生物機能論, 海産哺乳類学, 海洋生物学特別演習, 海洋生物学特別研究, 分子生物化学, 環境微生物学, 生物機能科学, 生物機能利用学, 水圏環境化学特別演習 , 水圏環境化学特別研究 , 科学技術社会論 |

○海洋環境保全学専攻 免許教科「水産（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|--|
| 教科に関する科目 | 海洋無機化学, 海洋環境保全学, 生元素循環論, 生命化学, 有機構造解析, 水圏環境化学特別演習 , 水圏環境化学特別研究 , 海洋力学, 沿岸海洋物理学, 海洋乱流・拡散, 海洋生態物理学, 環境情報解析学, 情報解析応用学, 環境構造論, 物理分析の最先端, 環境測定学, 光環境測定学, 環境数理解析学, 海洋数理解析学, 環境システム科学特別演習, 環境システム科学特別研究, 海洋健康科学, 海洋スポーツ科学 |

○海洋環境保全学専攻 免許教科「商船（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|---|
| 教科に関する科目 | エネルギー管理論 *, 環境保全論 *, 動力エネルギー実験, 環境解析論, 環境予測論, 環境科学演習, 海洋人類学, 海洋人類学演習, 環境システム工学特別演習 , 環境システム工学特別研究 |

○海洋環境保全学専攻 免許教科「工業（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|--|
| 教科に関する科目 | 機能材料化学, 環境機能材料化学, 水圏環境化学特別演習 , 水圏環境化学特別研究 , 大気環境計測学, 大気環境物理学, 大気環境計測学実験, 機能安全工学, 高信頼性制御システム工学, システム安全工学実験, 環境システム工学特別演習 , 環境システム工学特別研究 |

○海洋管理政策学専攻 免許教科「理科（専修）」 必要単位数 2 4 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|---|
| 教科に関する科目 | 海洋利用管理概論, 海洋 ESD 実習, 海洋リテラシー論, 沿岸域利用政策論, 資源変動システム論, 生態系管理学, 生物資源管理学, 生物資源解析学, 海洋環境システム論 #, 沿岸域保全論, 沿岸防災保全論, 海洋利用管理学特別演習, 海洋利用管理学特別研究 |

○海洋システム工学専攻 免許教科「理科（専修）」 必要単位数24単位以上

| | |
|----------|--|
| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
| 教科に関する科目 | 海岸過程論, 沿岸環境学, 海洋音響計測学, 環境テクノロジー学特別演習, 環境テクノロジー学特別研究 , 計測物質科学, 分析科学, 物質科学実験, 海洋サイバネティクス特別演習, 海洋サイバネティクス特別研究 |

○海洋システム工学専攻 免許教科「水産（専修）」 必要単位数24単位以上

| | |
|----------|--|
| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
| 教科に関する科目 | 環境エネルギー工学, 海洋環境機械学, 応用情報工学, 移動体情報工学, 応用数理環境テクノロジー学, 海上安全科学, 沿岸生産環境学, 海洋生産環境工学, 環境テクノロジー学特別演習, 環境テクノロジー学特別研究 |

○海洋システム工学専攻 免許教科「商船（専修）」 必要単位数24単位以上

| | |
|----------|---|
| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
| 教科に関する科目 | 蒸気動力工学, 蒸気動力システム工学, 蒸気動力実験, 内燃機関環境工学, 内燃機関システム工学, 内燃機関実験, 空気調和・冷凍工学, 空気調和・冷凍工学実験, 電力変換工学, 電気動力実験, 動力エネルギー工学, 動力システム工学特別演習, 動力システム工学特別研究 |

○海洋システム工学専攻 免許教科「工業（専修）」 必要単位数24単位以上

| | |
|----------|--|
| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
| 教科に関する科目 | トライボロジー学, 機械応用力学, 機械応用力学実験, 機械材料学, 機械材料実験, エネルギー変換工学, エネルギーシステム工学, エネルギー変換実験, 機械システム設計学, 機械要素設計学, 機械設計実験, 先端材料物性学, 物理シミュレーション学, 物理工学実験, 海洋機械工学特別演習, 海洋機械工学特別研究, ロボットシステム制御論, ロボットシステム設計論, ロボット工学実験, 制御システム設計論, 数理工学, オートマティクス実験, 電子制御システム論, 電子制御実験, 海洋サイバネティクス特別演習, 海洋サイバネティクス特別研究 , 水中探査機器工学, 水中探査機器工学実験, 水中音響工学, 水中音響工学実験, 浮体利用工学, 浮体利用工学実験, 海洋探査・利用工学特別演習, 海洋探査・利用工学特別研究 |

○海運ロジスティクス専攻 免許教科「商船（専修）」 必要単位数24単位以上

| | |
|----------|---|
| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
| 教科に関する科目 | 電波情報システム, 航行システム演習, 航路計画論, 航路計画演習, 航海情報論, 航海情報論演習, 情報システム工学特別演習, 情報システム工学特別研究 , 移動体通信システム, 海運と海洋特別セミナー, 船体運動解析学, 船型学, 浮体運動学, 運航システム設計工学, 海事英語論, 海洋テクノロジー学特別演習, 海洋テクノロジー学特別研究 |

○海運ロジスティクス専攻 免許教科「工業（専修）」 必要単位数24単位以上

| | |
|----------|---|
| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
| 教科に関する科目 | 知識情報システム設計論, 知識情報設計演習, 情報システム取引と民事責任, 情報システム取引と民事責任演習, 情報システム工学特別演習, 情報システム工学特別研究 , 海上輸送システム論, 海上輸送システム演習, 安全推進システム工学, 安全推進システム工学演習, 海上交通システム論, 海上交通システム演習, 航法電子工学, 交通管制工学, 海上安全テクノロジー特別演習, 海上安全テクノロジー特別研究, 国際輸送セキュリティ工学, 物流貨物管理工学実験, サプライ・チェーン最適化工学, 流通経営工学演習, ロジスティクス工学, ロジスティクス工学演習, 交通計画論, 地域計画学演習, 流通情報システム工学* , 流通設計論, 流通情報システム実験, 数理科学, 確率過程論 , 視覚情報処理論, 視覚情報処理実験, 応用解析, 流通システム工学特別演習, 流通システム工学特別研究 |

○食品流通安全管理専攻 免許教科：理科（専修） 必要単位数 24 単位以上

| 科目区分 | 対応する研究科の授業科目 |
|----------|---|
| 教科に関する科目 | 食品流通安全管理システム概論，HACCP システムⅠ，HACCP システムⅡ，食品衛生化学，食品微生物要論，農畜産物品質安全管理論，水産物品質安全管理論，食品製造での品質管理の実際，食品サニタリ技術論，ロジスティクス総論，食品流通技術論，食品トレーサビリティ論，リスク分析論，食品情報論，食と健康の科学，疫学，情報技術論，統計的意思決定論，食品流通安全管理ケース演習Ⅰ，食品流通安全管理ケース演習Ⅱ，食品流通安全管理ケース演習Ⅴ，食品流通安全管理ケース演習Ⅵ，HACCP システム演習，食品危害モニタリング法演習，食品流通安全管理システム研究 |

*を付した授業科目は、平成23年度入学者まで。

#を付した授業科目は、平成25年度入学者まで。